



◎ Z O R A

発行人:井上 誠(平成28年度・会長)

編集責任者:岩崎 宗一(率先垂範委員会副委員長)

編集委員会:率先垂範委員会



鳥取県東部中小企業青年中央会

- 綱 一、われわれは自己の研鑽につとめ、英知を養う。
- 一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
- 領 一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。

URL <http://www.tsc21.gr.jp/>

E-mail tsc@tsc21.gr.jp

FB <https://www.facebook.com/east.chuoukai/>



【サブテーマ】人が人を成長させる。

会長あいさつ

第42期会長 井上 誠



今年度42期も残り1カ月となりました。今年度テーマ「出逢い」サブテーマ(人が人を成長させる。)を掲げ、沢山の素晴らしい出逢いを求め、またそんな素晴らしい出逢いを提供出来る様活動して参りました。その出逢いから

人が人を成長させる為の刺激や気づきを得る事が出来ました。第42期会長として一年間、今までの人生の中で体験した事のない出逢いの数々。貴重な経験をさせて頂きました。

今年度後半での2月オープン例会では講師に橋下徹氏をお招きし、とりぎん文化会館・梨花ホールにて多くの来場者との出逢いが出来ました。4月に開催した第14回フラワーフェスティバルin湖山池では天候に恵まれ盛大に開催でき約4000名の関係者並びに来場者との出逢いが出来、会場内はふれあいの花で満開でした。そんな素晴らしい環境で1年間活動させて頂き、全会員を初め

皆様のご理解、ご協力を頂き感謝いたします。

各委員会活動でも個々のキーワードを主に素晴らしい委員会活動が行われ自己研鑽に努める事が出来ました。この一年は全ての委員会活動にも足を運び各委員会メンバーとの出逢い・ふれあいにも努めました。私自身が沢山の会員に成長させて頂いた年度となりました。

年度当初に発した通り、人との出会いがこの中央会での宝となっていますがこの年度でより沢山の宝を得ることが出来たと感じております。そう思える諸先輩方が築かれた42年の歴史を次代へ引き継ぎ43期千馬次年度会長をバックアップしていきたいと考えます。

今後共皆様との出逢いに感謝し、ビジネスチャンスと捉え、経済人として当会の発展、中小企業の発展へ繋がる活動を引き続き行っていきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻賜りますようお願いいたします。

最後に今年度多方面で支えて頂いた役員の皆様、そして家族・社員に感謝いたします。

一年間 有難う御座いました。

例会報告

2月例会

人狼委員会 委員長 尾崎 貴絵

2月16日(木)、とりぎん文化会館梨花ホールにてオープン例会を開催いたしました。

橋下徹弁護士を講師にお招きし、『人を、組織を動かすには』～橋下流、戦略的表現から学ぶ～をテーマに講演していただきました。

例会日前の2月11日、鳥取が記録的な大雪に見舞われ、開催が危ぶまれましたが、当日券含めチケットは完売し、無事大成功を収めることができました。

この日に向けて、委員会メンバー丸となって打ち合わせを重ね、しっかり準備してまいりました。また、2000人規模ということで、他委員会の皆様からも、動員や当日運営など、多大なご協力をいただきました。

とてもよかったという声を多数いただいたのも、皆様の協力あってこそです。本当にありがとうございました!!



3月例会

率先垂範委員会 委員長 上野大輔

平成29年3月16日(木)、とりぎん文化会館第2会議室にて、臨時総会・3月例会を開催しました。

冒頭の臨時総会では、平成29年度副会長の承認がなされました。後半の3月例会では、目的を達成するためのリーダーシップの発揮の仕方を学ぶワークショップを実施し、その後「コーチングから学ぶリーダーシップ」をテーマに三井住友海上火災保険株式会社・経営サポートセンター 向井孝行氏の講演を実施いたしました。ワークショップ・講演を通じて、ティーチングとコーチングの違いを改めて認識でき大変有意義だったという声を頂けました。今回の例会が会員全員の役に立つと幸甚です。

最後に、参加者全員で作上げた思い出深い例会となりました。たくさんのご協力を賜りありがとうございました。



4月 第14回フラワーフェスティバル



平成29年4月16日(日)湖山池オアシスパークにて、「第14回フラワーフェスティバルin湖山池」を盛大に開催いたしました。

本年度は、東京ディズニーランドの基本理念であります「SCSE」を参考にし、安全に、礼儀正しく、最高のショーを、効率良く運営することを心掛けました。こども達の大好きなテーマパークのようなイベントになるよう、キャストという案内役を設置し、合言葉「ハッピーフラワー！」と最高の笑顔で御来場者様をお迎えしました。

当日は最高の天気恵まれ、多くの方にご来場いただきました。青年中央会全メンバーで、4000人の来場者様を、様々なセクションにておもてなしすることが出来ました。また、年間通して管理している青年中央会花壇にて、1000本のチューリップを無料配布し、多くの方から喜びの声を頂きました。今後も地域のこども達に心から楽しんでもらえるイベントであり続けたいです。

最後に、当イベントにご協力いただきました多くの方へ、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



5月例会

なかまDE成長委員会 委員長 岡 大輔

平成29年5月18日（木）、とりぎん文化会館第2会議室にて、臨時総会・5月例会を開催しました。

臨時総会では平成29年度役員承認がなされ、いよいよ次年度役員陣容が固まり、千馬年度の準備が本格化して参ります。

5月例会では、井上会長の掲げる年度テーマ「出逢い」のもと、各委員会・実行委員会が一年間活動してきた内容を報告する「平成28年度 委員会活動報告会」を行いました。各委員長・実行委員長がそれぞれの活動に込めた想い、成果、色々な出来事を笑いあり、感動ありの報告会となりました。

会場全体が一体となって楽しめて、一年を振り返ることが出来る素晴らしい例会となりました。



フェスティバルin湖山池

自己RISE委員会 西原 泰仁



ビジネス教育事業

県出向理事 船越 誉裕

平成29年3月18日(土)に倉吉体育文化会館にて平成28年度ビジネス教育事業 第3回ビジネス交流会「鳥取県FDM」を倉吉体育文化会館にて開催しました。

内容としては、企業PR、企業展示、商談会、企業見学会、懇親会を行い、全会員のアンケートを基にビジネス情報冊子を発行しました。今回は、ビジネス交流会としては初の試みである、他団体の参加と学生に対しての企業見学会を事業内容に盛り込みました。

OB、他団体、学生の皆様にも参加していただき、事業としては一歩成長できたのではないかと思います。皆様のおかげで無事終えることができ、本当に感謝しております。ありがとうございました。



第二回委員会対抗ゴルフ

サポート実行委員会 実行委員長 茶谷 友士

委員会対抗ゴルフを平成29年4月2日(日曜日)、郡家ゴルフクラブにて、行いました。参加人数は42名、上限なしのダブルペリア方式を用い、競いました。当日は前回同様、晴天に恵まれ、絶好のゴルフ日和となりました。結果は人狼委員会の連覇、また最多参加賞も人狼委員会となりました。個人優勝はサポート実行委員会の中島健太会員でした。多くの方のご参加ありがとうございます。



会長杯ゴルフコンペ

幹事 船越 誉裕

平成29年5月14日(日)旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部 白兔コースにて平成28年度東部青年中央会会長杯ゴルフコンペを開催しました。天気にも恵まれ、OB・来賓・会員合わせ総勢49名の参加で大いに盛り上がりました。最高スコア80から162まで幅広いメンバーでしたが、皆さん楽しくプレーしていたように思います。参加して頂いた皆様大変お疲れ様でした。来年度も多数の参加を心よりお待ちしております。



★新入会員紹介★

- 鈴木丈夫会員 (株式会社オールラウンド) 人狼委員会
- 木村竜也会員 (タッグパートナー) なかまDE成長委員会
- 上田直明会員 (三井住友海上火災保険株式会社 山陰支店鳥取支社) 率先垂範委員会
- 間屋口貴仁会員 (ちゃれきんぐ株式会社) ロジコミ委員会
- 田中周会員 (株式会社鳥取銀行 出向先: 株式会社シーセブンハヤブサ) 人狼委員会

★新社屋落成★

- 妹尾範康会員 2月 鳥取市南吉方に本社を移転。
- 林正太郎会員 3月1日 鳥取市若葉台本社工場隣接地に生産設備の組み立て工場を増築。
- 繁延珠希会員 4月 鳥取市賀露町に事務所を移転。
- 船越誉裕会員 5月15日 鳥取市南安長に本社を移転。
- 西根伸吾会員 5月1日 北園くれよん保育園を開園。(鳥取市) 6月15日 目久美くれよん保育園を開園。(米子市)

★結婚報告★

- 田中亮祐会員 2月25日にご結婚されました。 奥村尚通会員 5月28日にご結婚されました。

Information



編集後記

梅雨入りし、外出の予定を入れにくい時期になりました。せっかくの準備が予定変更…なんてことも。事業においても変化の激しい時代です。常に予備プランを考えてスマートに、実力が試されますね。

「清廉鉄真」

(せいれんてっしん)

心が清く、ぶれない意思、精神を持っている

清水隆文会員
(人狼委員会)

「義雄献文」

(ぎゆうけんぶん)

義雄 = 依頼者のために正義感を持って勇ましく立ち向かう様

献 = 中央会に貢献して頂いた感謝

文 = 「文雄」の一文字を頂戴いたしました。

西川文雄会員
(自己RISE委員会)

卒業生に贈る 四字熟語

「一心昭進」

(いっしんしょうじん)

自らの信念に基づいて懸命に努力する村上昭二さん。

そんな昭二さんの周りはずっと明るく照らされ和やかなムードが漂っています。幸せをその手につかむまで「一心昭進」自分の道を突き進んでください。

村上昭二会員
(ロジコミ委員会)

「伸酒果敢」

(しんしゅかかん)

元々は、「進取果敢」で、物事に積極的に取り組み、決断力に富んでいる

西根伸吾会員
(率先垂範委員会)

「雅人森至」

(がじんしんち)

風雅を理解できる才知のある人で、森のように大きな風情

森 雅道会員
(情熱 to 行動力委員会)

「森裸爆笑」

(しんらばんしょう)

森原さんと言えば「裸」。愛溢れる裸踊りに敬意と感謝の念を込めて、この言葉を贈ります。

森原義博会員
(なかまDE成長委員会)

卒業生からの一言

清水 隆文

青年中央会に15年在籍させて頂きました。その間、色々な役職をさせて頂き、その時代時代にふさわしい多くの勉強をさせて頂き、多くの仲間と知り合うことが出来ました。私が一番に言いたいことは参加すること。参加することで、直接的には勉強出来、仲間と交流も出来、また、参加する為に自社内で段取りを行うことも学び、自分、周りも一緒に成長出来る会だと思っております。そして参加においてもただ参加するだけじゃなく、共に考え、共に行動することまでして頂きたいと思います。

私は中央会の活動を真剣にすることで自己研鑽出来、また、時間の大切さを感じる事が出来ました。本当に素晴らしい会です。中央会の行く末は現役の皆さん次第です。さらなる高みを目指してください。

西川 文雄

私にとって、青年中央会は、物事が思い通りにならない苦しさ、その中で、物事を成し遂げていく楽しさを感じることでできた会でした。個性的なメンバーが集まる会なので、普段は、皆がバラバラに行動している感じですが、いざ本番というときには、それぞれのメンバーが同じ方向を向き、力を合わせて、物事を成功に導いていく、という驚きをいつも感じていました。まだ、入会して数年という会員の皆さんは、是非、この青年中央会で、いろいろな役割を引き受けて経験値を積んでいってほしいと思います。成功する経験も重要ですが、反省点から得られる経験も貴重なので、失敗を恐れず、いろいろな役割に挑戦していってほしいと思います。

西根 伸吾

平成10年に入会させて頂き、私も、いよいよ卒業する日を迎えました。諸先輩方に可愛がってもらい、多くの事を学びました。地区会長、県会長という貴重な経験もさせて頂きました。弊社は、入会当初、数名だった社員が、現在ではグループ全体で500名近くになっております。これも全て、この中央会でたくさんの人々と出会い、成長させてもらったからだと言えます。これから先、在籍しておられる皆さんが、鳥取を代表する企業となり、活躍する事を期待しています。本当に長い間お世話になりました。ありがとうございます。

村上 昭二

私が青年中央会に入会してから約2年間は、ただ参加するだけで何もできなかったと記憶しています。しかし、3年目に入った頃に経験した例会の初司会、3分間スピーチなど、貴重な時間を過ごすうちに、少しずつ自分の意見が言えるようになったと思います。小さなことからコツコツと、いろいろな経験し自分磨きをしていただきたいと思います。

森 正道

今思い返せば本当に一瞬だったなあ～
こうやって年をとっていくんだね～寂しくなってきたところです。中央会活動の中で一番心に残っているのは、会員の皆さんと知り合えそして仲良くさせて頂き、切磋琢磨できたことです。

自らの仕事を抱える中、中央会活動も併用してきついこともありましたが、自分に負荷をあえてあたえていく考え方でやっていきました。いわゆる筋トレみたいなものですね。その結果仕事での計画、行動、段取りなどあらゆることで役にたってる気がします。

皆さんもこれからの中央会活動において、どんどんチャレンジしてください。思いっきり自分に負荷を与え追い込んでいきましょう。そうすると何かが見えてくると思います。

それでは皆さん中央会「道場」を楽しんでくださいませ。

最後に自分に関わってくれた皆様、ありがとう。

森原 義博

突っ走ってきた11年間、あっという間でした。役員会、委員会、例会、親睦会、イベント等、何でもそうですが、まずは参加することです。私の中央会人生は、ほぼ「はい」と言ってきました。「はい」と言ってから、どうしようかな～と考えていました。この中央会で最も習得したことは、スケジューリング力と決断力だと自負しています。仕事も中央会も段取りです。私もそうでしたが、苦手だと思えることほど積極的に取り組み、自身を高めていってほしいです。本当に長い間お世話になりました。一生涯の友人もつくることができ心より感謝しています。皆さん、あっざーす！またね！